



館報 絆 (きずな) <令和8年3月>

地域住民同士の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を支援し、
人づくりと地域づくりに貢献します！

打田地区公民館
令和8年3月4日
文責：社会教育指導員
原 寿宏
(電話0736-77-3140)

みんなでつくるみんなの公民館 ～つどい、まなび、つながる～

春の予感が少しずつ感じられる季節となってまいりました。

さて、皆さんお気づきかと思いますが、当館では、「館報・絆」をはじめ、館内掲示やホームページでの広報活動に注力しています。講座やイベントの受講者・参加者募集のための事前広報は当然のことながら、実施した催しの様子を伝えることこそが重要だと考えて、事後広報に特に力を注いでいます。

思い起こせば、去る令和6年2月「絆・創刊号」で、その発刊の趣旨を、標題に掲げる公民館のあるべき姿を体現するため、「まずはその第一歩として、日頃の取組をより多くの皆様に知っていただき、公民館に興味をもっていただくことが重要」との考えからだと述べさせていただきました。もとより公民館側だけでは公民館活動は成り立ちません。公民館に集い、公民館を利用してくださる皆さん、講座を受講し、また、イベントに参加してくださった方々との一期一会が、様々に共鳴し合い、よりよい公民館へと進化していくのだと思います。

「絆」に掲載した写真や「館内掲示」の写真を通じ、コミュニケーションの輪が広がっている様子が垣間見られ、狙い通りの効果に「しめしめ」と思っています。また、講座紹介などの情報をご覧くださっている方も結構いたりして、公民館側からお声がけするきっかけにもなっています。ご承知のとおり公民館事務室はガラス張り、掲示板に足を止めてくださっている方は“丸見え”なのです。ここぞとばかりにGO!“意義のある無駄ばなし”にも注力してきました。

お陰様で、皆様方のご理解ご協力により少しずつではありますが、標題に掲げる「地域住民同士の『つどう』『まなぶ』『むすぶ』を支援し、人づくりと地域づくりに貢献」という、目指すところの理想に近づいてきているように感じています。まさに、「みんなでつくる みんなの公民館」なのだと思います。

そうした意味からも、令和8年度新規講座として、「おもちゃドクター養成講座」と「プロが教えるガーデニング入門講座」の2つの講座を開講します。共に公民館を拠点に新たな“にぎわい”の創出をめざした講座で、講座終了後も当公民館を拠点に活動していただくことを目的としています。詳しくは「市報紀の川4月号」をご覧ください。

末筆ながら、社会教育指導員・原が担当する“絆”は、この号をもちまして最終回となりますが、引き続き、館報・絆が館と皆さんを、また、皆さん同士の絆を紡ぐ一助になり得ることを願っています。ありがとうございました。

【サークル紹介】

サークル名:「着付けサークル」

同サークルは、昨年度「着付け講座」を受講した10名あまりで立ち上げた自主サークルで、現在、「公民館サークル」としての登録を目指し活動中です！

また、3/7(土)には昨年度も行った「茶道サークル」の皆さんとのお茶会を行う予定です。和装に興味のある方、「自分で着物を着られるようになりたい!」という方は、公民館にご一報ください。

♡「いきいき交流教室」歯と口の健康 ～おいしく楽しく健康に～ ♡ (2/4・水)

今年度最終回は、受講者の皆さんの健康維持・増進を図るために、日常生活の中で必要不可欠である“食する”ことの重要性について、県庁健康推進課の専門職員(歯科衛生士)の方からお話をいただきました。この回には貴志川地区公民館「ことばき教室」の皆さんも参加。皆さん日々の生活に直結するテーマとあって、いつも以上に熱心に聴き入っていました。

また、全12回中9回以上出席の方19名を代表して、福井一美さんに「精励賞」を授与させていただきました。



♡ 公民館へ行こうフェア「ドローン」に挑戦! ～プログラミングしたドローンを飛ばしてみよう!～♡ (2/7・土)

現在、小学校でも「プログラミング」について学習し、ロボットを動かしたりという体験をしているのですが、ドローンを飛ばすというのは初体験。参加した子供たちは県立紀北工業高校コンピュータ部の生徒の皆さんから、丁寧にプログラミングの仕方を教えてもらい、「ドローンを輪っかをくぐらせて飛ばすことに成功した」と、自分がプログラミングした命令どおりにドローンが飛び様子に目を輝かせていました。



♡ 障害のある方の学びと体験機会の充実に努めています!

今年度は、「和太鼓体験教室」・「ダンスにチャレンジ!」・「タイルアート体験教室」・「ウクレレ体験教室」・「陶芸体験教室」・「みんなで心をひとつにハーモニー」の6つの体験教室を企画、実施しました。それぞれわずか1回～3回程度の単発もしくは連続の体験教室でしたが、参加した皆さんは元気よく伸び伸びと笑顔を楽しんでおられました。また、当館独自の取組として、「タイルアート体験教室」・「ウクレレ体験教室」は障害のあるなしに関わらず、共に学び交流することを目的に“交流”と銘打って開催しました。

